

編集後記：私は BUMP OF CHICKEN というバンドのファンで、あるとき代表曲である「天体観測」をカラオケで歌っていた。この曲は序盤に「ベルトに結んだラジオ 雨は降らないらしい」という歌詞があり、その後終盤には「予報外れの雨に打たれて 泣き出し そうな」という歌詞が登場する。当時私は気象台で府県天気予報の発表を担当しはじめた頃で、未熟なため既に何度か雨の予報を外してしまっていた。そのため、不意に画面に現れた「予報外れの雨に」という歌詞を歌えずに固まってしまった。その場は職場の懇親会の二次会（三次会だったかもしれません）であり、酒に酔っていて、この歌詞が出てくるのを忘れて曲を入れてしまったのだ。何とも気まずい思いをした記憶が残っている。

「予報外れ」や「予報どおりにいかない」といった

類いの歌詞はこの曲の他にも様々な楽曲に存在している。誰しも予報が外れた雨に遭遇した共通の経験があり、思い通りにいかない心情等を表すために伝わりやすい表現なのだろうと想像する。「天体観測」が発売されたのは2001年。天気予報の精度は年々向上してきているが、その頃から世間一般の認識は変化しているだろうか。今後も精度向上が続き、この歌詞に共感できない世代が出てくるとうれしい限りだ。

BUMP OF CHICKEN は宇宙や空を題材にした曲を多く手がけている。「ピッタリと当たった予報で」や「予報どおり雨が止んだから君に会いに行くよ」といった歌詞がいつか登場するのをひそかに期待しているが、ファンとして考えると BUMP OF CHICKEN のセンスと違う気もしている。

(一川孝平)